

発行所

株式会社 FPシミュレーション

大阪府中央区平野町3-1-10 Tel:06-209-7678

編集発行人：税理士 三輪 厚二 Fax:06-209-8145

◁ 設備投資の安全度・固定比率の分析

Q：設備投資の安全度を見るバロメーターは、固定比率だと聞いたのですが、計算方法を教えてください。

A：固定比率によって、自己資本でどのくらい固定資産を賄っているのかがわかります。次の算式で計算してみてください。

(1) 自己資本を出す

資本金＋内部留保

(2) 固定比率を出す

$(\text{固定資産} \div \text{自己資本}) \times 100$

【分析】

(1) 商品は販売すれば現金化しますが、固定資産はその投資回収に長期間かかりますから、返済する必要のない自己資本で賄うか、借入金による場合も長期借入金をあてるのが原則です。運転資金までつぎ込むと資金繰りが苦しくなります。

(2) この比率は、小さければ小さいほど安全な設備投資をしている会社ということになります。100%以下なら自己資本の範囲内で理想的ですが、100%を超える場合は自己資本と長期借入金で賄わなければならない、借入金の返済、金利の負担等の問題が生じます。

(3) この比率を補助する比率として「固定長期適合率」があります。固定比率が100%を超えたら固定長期適合率で再検査してみましょう。

(4) この比率の平均は次のようになっています。

製造業…161 建設業…129 卸売業…136

小売業…119 飲食業…144

